

所属名	事務事業名	ページ番号
秘書課	表彰事務	2
秘書課	市民べんり帳作成事業	3
秘書課	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	4
秘書課	広聴事業	5

令和7年度 事務事業進捗報告シート

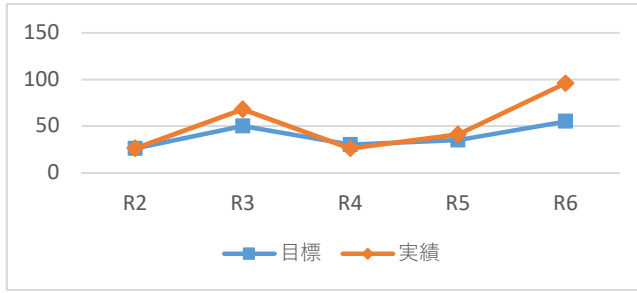
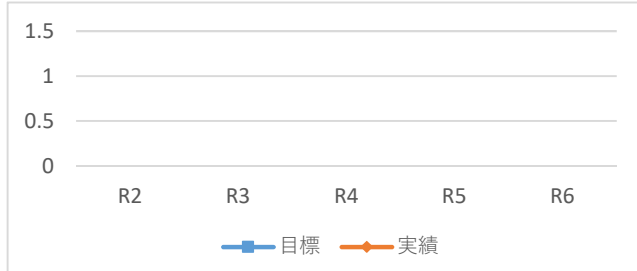
事務事業名	表彰事務	事業期間	昭和 44 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	井内 陽介
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	様々な分野での功績や市民の模範となる善行の行為を称えることで、その分野の関心が高まり、受賞者やその分野に携わる者の励みとなり、今後の更なる研鑽を喚起する。 議員、職員の功績を称え、職務における今後の更なる活躍を促す。				
事業の対象者	市民等（市政に功績のある者）、議員、職員				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市表彰【市政功労者表彰】個人51人 ・特別表彰 個人44人、1団体 ・議会議員表彰 在職20年 2人、在職10年 4人 ・職員表彰 勤続30年以上 64人、勤続20年以上 27人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,324	3,744	2,535	2,762	5,106
うち佐賀市の負担額	2,324	3,744	2,535	2,762	5,106

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市表彰者数						人
R2 実績	R3 実績	R3 目標	R4 実績	R4 目標	R5 実績	R5 目標
26	68	50	26	30	41	35
						R6 目標
						55
						96
成果指標②						単位
R2 実績	R3 実績	R3 目標	R4 実績	R4 目標	R5 実績	R5 目標
						R6 目標

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	自治会長及び民生委員・児童委員のほか、地域の見守り活動やボランティア活動等での功労による表彰者、スポーツ功労での特別表彰者が増加した。

↓

今後の改善策、対応策等

佐賀市表彰制度について市民に浸透しつつあり、地道に活動されている個人・団体の表彰が増えてきており、引き続き積極的に推薦してもらうよう各課に促す。
令和6年度の実績値については、民生委員・児童委員の改選時期に合わせて、3年ごとに受賞対象者が多くなることに加え、SAGA2024国スポ・全障スポで多くの佐賀市民の選手が活躍したため、目標値を大きく上回った。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

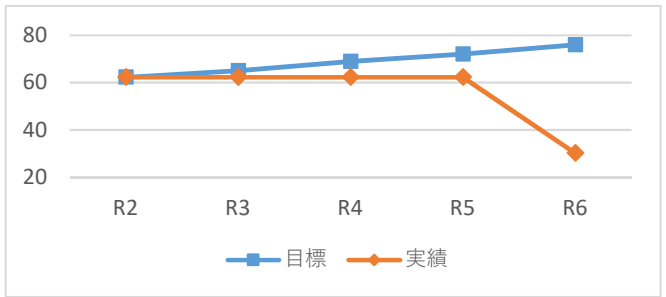
事務事業名	市民べんり帳作成事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	井内 陽介
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

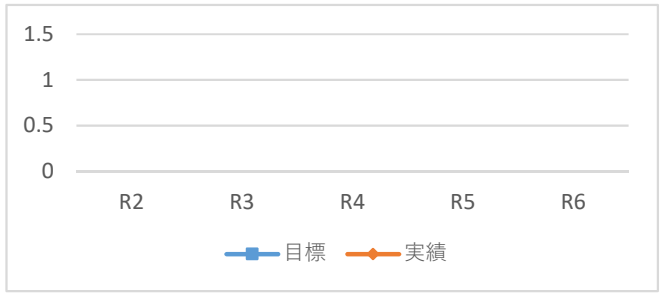
事業概要・目的	市民の日常生活に関わりが深い市のサービスや施策を紹介するための冊子を、2年に1度の間隔で制作し、希望者及び市内への転入者へ配布する。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	令和5年度に作成した市民べんり帳を転入者や希望者に配布（配布数） ・市民べんり帳：4200部 ・点字版市民べんり帳：75部 ・音声版市民べんり帳：160部				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,015	0	0	4,653	0
うち佐賀市の負担額	9,888	0	0	3,804	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
62.26	65 62.26	69 62.26	72 62.26	76 30.23		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和5年度版の冊子は、全戸配布から、転入者や希望者への配布に切り替えた。ホームページにデータを公開しているものの内容を目にしていない人もいたため、目標を達成することができなかった。満足度アンケートで「ふつう」と回答した方を含めると96.51%になる。

↓

今後の改善策、対応策等

市民にかかわりの深い行政情報を提供し、生活に必要な行政情報を常時取得しやすくすることで、市民の市役所での手続きなどを容易にするものであるため、令和7年度版を制作するにあたり、より分かりやすい掲載方法、周知方法を検討していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

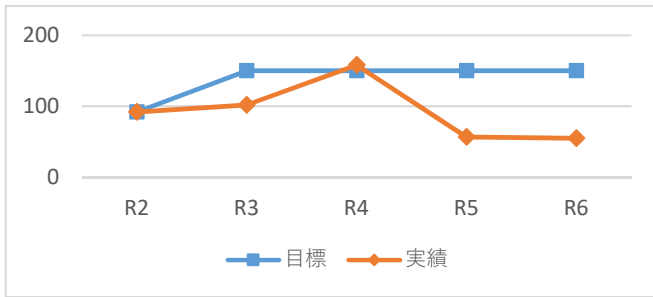
事務事業名	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	事業期間	平成 23 ～ 年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	井内 陽介
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

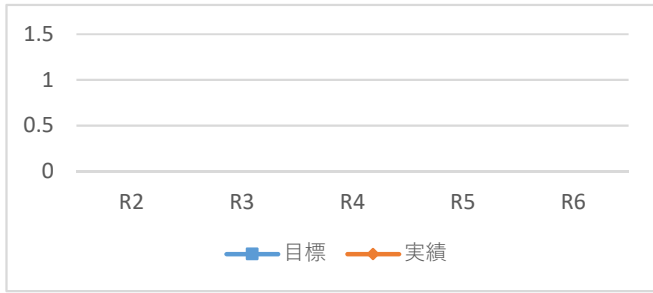
事業概要	本市の特産品を市外在住者に贈呈する時に、特産品の宣伝を行うことで、当該特産品の認知度を上げるとともに、本市職員の宣伝能力の向上を図る。				
事業の対象者	市外対象者				
令和6年度 主な活動実績	特産品として登録数35品中11品目の宣伝を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	179	256	409	132	129
うち佐賀市の負担額	179	256	409	132	129

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特産品の贈呈数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	150 102	150 158	150 57	150 55		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	事業開始から一定期間が経過したことから、事業規模を縮小して、より効果的かつ効率的なPRを行った。



今後の改善策、対応策等
事業の目的はほぼ達成しており、予算も縮小して交付対象を絞っている。そのため、効果は限定的となっていることから、今後、事業を廃止し、必要な経費については、秘書事務経費に計上する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広聴事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	井内 陽介	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	広聴の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市の施策や事業について、市民の意見を調査し、市政運営の参考とするため、「市政への提言」を受け付けるほか、「インターネット市政モニター」や「パブリックコメント」を実施する。また、市の担当者が出向き、市が行っている事業の詳細を説明する「職員出前講座」や、市長が地域に出向き、市の取組や考えを説明するほか、市政についての意見交換を行う「市長、出動！まちトーク」を実施する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者）				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市政への提言 受付件数 492件 ・インターネット市政モニター 実施件数 11件 ・パブリックコメント 実施件数 19件 ・職員出前講座 実施回数 195回 ・市長、出動！まちトーク 実施回数 10回 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	572	649	501	441	421
うち佐賀市の負担額	572	649	501	441	421

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市政アンケート協力者の回答者数（延べ人数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,327	1,393 1,534	1,463 1,845	1,536 2,601	1,613 2,802		

成果指標②						単位
職員出前講座の開催回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	72 107	76 129	80 184	84 195		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	<p>【インターネット市政モニター】抽選による回答者への景品発送や、回答啓発メール等により、目標を達成した。</p> <p>【職員出前講座】人気講座の継続と、新規講座の開拓により目標を達成した。</p>

↓

今後の改善策、対応策等

【インターネット市政モニター】ホームページ更新に伴い、他アンケートツールに移行するため、より見やすいアンケート結果を公表することで新規モニターの獲得に努める。

【職員出前講座】市報等を活用して市民への周知を行うとともに、市民の関心の高い講座を増やすことで、実施回数増に努める。